

著名工事 視察の手引

道路著名工事

①東京府放射線及び環狀道路新設工事 ②延長15里幅12間の舗裝道路を新設するものにしてコンクリート、アスハルト等の工事 ③アスハルトプラント、アスハルト撒布機等使用 ④環狀線 7.5 里の内 3 里出来(十一月末) ⑤東京府土木部都市計畫課第一道路改修事務所長(澁谷)鈴木善之助、第二出張所長(集鴨)上村爲人 ⑥直營及び請負 ⑦昭和 5 年 ⑧第一事務所は省線エビス驛下車目黒役場へ向つて 3 丁右手(澁谷町下通り)、第二事務所は省線板橋驛下車大正大學前(西サガモ町サガモ)

①芝區札の辻電車通りより芝浦に至る 都市計畫事業街路一人大路第三類第二號路線築造工事 ②③④鐵道東海道線を架道橋により横斷し復興計畫幹線第一號路線に接續する等關係重大擁壁工(鐵筋コンクリート高30尺)を主とす、目下擁壁基礎工事の一部を請負により施行しつゝあり(ペDESTALパイプ)路面は石塊舗裝の豫定基礎工事一月竣工の豫定、次いでコンクリート擁壁工に着手 ⑤東京市土木局道路課技手小山斐夫 ⑥基礎工事請負者は東洋コンプレツソル會社、他は直營 ⑦昭和五年三月頃。

①四谷區大木戸電車通りより千駄ヶ谷觀音町橋通りに至る 都市計畫事業街路一人大路第三類第三號路線築造工事 ②地勢比較的複雑にして鐵道線路、明治神宮裏參道等を横斷する爲工作物の種類多し、路面はアスハルト舗裝將來軌道豫定のケ所は簡易舗裝工施工 ③工事未着手により無 ④同上 ⑤東京市土木局道路課技手寺田重次郎 ⑥直營 ⑦昭和五年三月三十一日 ⑧市電四谷大木戸下車 ⑨明治神宮外苑、新宿御苑。

①四谷區新宿旭町地内道路工事 ②12間幅道路の中央に簡易舗裝を施工し、車道交通頻繁のケ所はアスハルト舗裝延長約 200 間 ③西新井の東京市アスハルトプラントに於て配合して運ぶ ④一部竣工 ⑤東京市土木局道路課 ⑥直營工事、道路課技師高橋猛雄 ⑦昭和四年度。

東京附近橋梁著名工事

①萬世橋架設工事 (東京市神田區) ②河底を東京地下鐵道が通ずるケ所にして橋梁工事の下に先づ地下鐵道の坑道を建設するもの、都市内の工事としては我國最初の難工事である ③河底を横斷する地下鐵工事を先にする爲め鋼鐵製溝形を以て河流を通し舟行に支障なからしめ次に下部の工事に着手する、總てスチールシートパイルにて切締を施し地下鐵工事もオープンカットにて施工する諸種の設備あり ④鋼鐵製溝形導流装置を終り此の假工事の締切撤去

本欄は次の順序に配列記載します

- ①工事ケ所名稱 ②工事特長 ③工事設備
- ④工事現状 ⑤工事設計及主任 ⑥工事施工者
- ⑦竣工豫定 ⑧道順 ⑨附近名勝地

せり(三年十二月末) ⑤東京市役所土木局橋梁課 ⑥大林組 ⑦昭和四年十月豫定 ⑧省電萬世橋驛又は須田町 ⑨聖橋、お茶水橋、ニコライ堂。

①厩橋(東京市浅草區黒舟町墨田川) ②三徑間タイドアーチ ③基礎工事に締切用として福穴式アーチ型シートパイル使用 ④上部架術工事中 ⑤東京市役所土木局橋梁課 ⑥工事主任遠藤正巳、工事請負栗原源三 ⑦昭和 3 年末 ⑧市電厩橋下車 ⑨附近に復興局最近施工の藏前橋、駒形橋あり。

東京附近河川工事

①荒川下流改修工事の小松川開門工事 ②基礎は鐵筋混凝土杭、米松杭 1 尺 2 寸角 50 尺二本継ぎ及鐵骨混凝土床板。揚扉式 ③シートパイルにより締切施工 ④上部工事中 ⑤内務省東京土木出張所 ⑥直營工事主任技師原口忠次郎 ⑦昭和四年三月。

①荒川下流改修工事の船堀開門工事 ②基礎は 75 尺米松杭及鐵筋コンクリート床張、揚扉式 ③90 尺杭打機使用 100 馬力吸入瓦斯機關により發電 ④基礎及び扉室コンクリート工事を終り塔鐵骨組立終了(三年三月號参照) ⑤内務省東京土木出張所 ⑥直營工事主任内務技師原口忠次郎 ⑦昭和 4 年 3 月。

①目黒川改修工事 ②都市内に於ける河川工事として幅 14 間延長 4081 間、運河として内 364 間を設備す、コンクリート間知ブロックを護岸に使用す。

③スチームショベル、ドラグラインエキスカベーター電氣機關車(土運搬用)等使用 ④品川町品川橋下より森永橋間を掘鑿及護岸工事中、新國道と舊國道間は竣工 ⑤東京府土木部都市計畫課、目黒川改修事務所長平井技師 ⑥直轄工事 ⑦昭和五年度 ⑧市電北品川終點下車約 6 丁利田新地

東京市下水道工事

①芝區田町地内 自札ノ辻至鐵道線路、下水道幹線工事 ②二系統の下水道管渠を一個の鐵筋コンクリート構造物となせしを特徴とす即自然流下により品海に下水を放流せしめ得べき芝、麻布、赤坂、四谷、麴町區方面の高臺用として幅 8.0 高 8.0 の矩形渠を上段に然らざる區域即別途施設の芝浦筒場に於て吸揚の上排除すべき麴町、神田、日本橋、京橋、芝四谷、牛込、小石川、本郷、下谷區方面用として幅 11.0 高 9.0 の矩形渠を下段に築造するの計畫なり ③二段管渠 延長 410.4 一段管渠(断面内徑 2.0 圓形より幅 11.0 高 8.0 の矩形渠に至る) 371.0 人孔 4 個所 分水装置 1 ヶ所 ④昭和參年五月壹日着手 ⑤設計者東京市役所土木局下水課技師山田武治、技手原田達二、技手大寺廣、監督主任者技手稻生達一 ⑥請負者飛鳥組 ⑦昭和四年壹月末頃

著名工事 視察の手引

- ③市電札ノ辻停留場下車（附近）省電田町驛下車
- ④泉岳寺約十町、東京港芝浦棧橋、約十四町、東京芝浦唧筒場(下水道)約十町
- ①深川區豊住町地内 自木場唧筒場至横十間川下水道幹線工事 ②現場附近は河川及木堀多數のため僅に1,522.7の區間に四ヶ所の伏越部を有するを特徴とす ③普通部管渠延長(斷面幅8.70高7.2馬蹄形渠)1,115.741 伏越部管渠延長(斷面内徑6.70圓形)406.4 (四ヶ所合計)人孔及灯孔12箇所 ④昭和貳年拾壹月拾日着手 ⑤設計者東京市土木局下水課技師山田武治、技手上田取司、監督主任者技師仲山金治 技手關口隆長 ⑥直營施工 ⑦昭和四年參月末頃
- ③市電洲崎停留場下車、約十町、城東電車、豊手橋停留場下車、約五町 ④仙氣稻荷、約八町、東京木場唧筒場(下水道)本工事起點附近。
- ①深川區豊住町地内 木場唧筒場雨水唧筒工事 ②本工事に於て施設する唧筒は軸流型唧筒にして低揚程大揚水量の揚水に當り在來の離心型唧筒に比し其の設計、製作、操作及設備費の點に於て容易低廉なるは勿論總能率に於ても優るとも劣らざるものにしてかゝる状態に於ける水の吸揚に最も適する唧筒なり、歐米には其の例を見るも現在本邦に於て製作設置するものの最大なるものなり ③口径45吋(排水能力一臺100立方尺/秒)4臺(附屬品共) ④昭和三年貳月壹日製作に着手、三年内に製作完了の上現場に持込の豫定 ⑤設計者技師根本子之助、技師兒玉琢夫、監督主任者技師加納豊彦、技手益本芳五郎
- ③請負者花原製作所 ⑦昭和四年壹月末頃 ③市電洲崎停留場下車、約九町。

東京市内建築著名工事

- ①麹町區永田町新議院 ②日本の代表的大建築(工事畫報大正15年1月號参照) ③鐵骨工事、コンクリート工事、石材工事等に機械の大設備在り ④鐵骨工事を終り混凝土及び石積工事中 ⑤大藏省營繕管財局にて懸賞設計募集により案を執り同局工務課にて設計、工事主任技師小島榮吉、現場主任は肥塚照次 ⑥コンクリート工事全部直轄、他は部分的請負 ⑦昭和6年 ⑧東京驛より自働車往復20分 ⑨首相官邸、藏相官邸、文相官邸、參謀本部等在り。
- ①龍泉寺町簡易宿泊所同質屋同託兒並兒童健康相談所新築工事 ②宿泊所と質屋との合同建築にして四階とし、二階は主として質屋を兼ね二階の一部及び三、四階は宿泊所とす(鐵筋混凝土造)託兒場は別に二階建鐵筋混凝土造とす(同延坪509.7ト8坪)衛生設備、各大小便處は水洗式とし改良下水溝に放流 ④目下基礎工事中 ⑤東京市建築課木村技師、監督

本欄は次の順序に配列記載します

- ①工事ヶ所名稱 ②工事特長 ③工事設備
- ④工事現状 ⑤工事設計及主任 ⑥工事施工者
- ⑦竣工豫定 ⑧道順其他 ⑨附近名勝地

井橋、土屋、技手中島屋 ⑥森田組森田福市、現場主任太田藤吉郎 ⑦昭和三年七月十二日起工、昭和四年四月二日竣工豫定 ⑧場所、下谷區龍泉寺町二一八番地外四筆。

- ①本所職業紹介所並婦人少年職業紹介所新築工事
- ②鐵筋混凝土三階建 延150坪、復興計畫に基き職業紹介所建築費の便宜と財政上の事情に依り三ヶ所合併、新築せるものとす、便所は城口式大正便所
- ③目下大工、内部各出入口額縁取付中、左官、一階三階村直し貳階仕上げ、鍛冶、外部鐵階段取付中
- ④東京市建築課石嶺技手(建築課)堂柳技手 ⑤小田組、小田末吉、玉橋福三、松坂榮作 ⑥昭和三年四月十四日起工、昭和三年十二月十八日 ⑦本所區元町一丁目二十番地。

- ①第一東京市立高等女學校(深川區東平井町一ノ一)
- ②鐵骨鐵筋コンクリート建延2,252坪 ③コンクリートに關する實驗的施工とインテンション、パツチャープラントを使用 ④鐵骨工事完成、鐵筋コンクリートは一、二階施工中 ⑤東京市土木局建築課學校建設係、東京市技師名古屋徳次 ⑥飛鳥組 ⑦昭和四年三月三十一日 ③市電洲崎終點より東へ約五町。

地下鐵道工事

- ①東京地下鐵道工事(上野萬世橋間) ②路下式開鑿の地下鐵道として我國最初の工事で第一期線上野淺草間施工の經驗により本區間の設計施工は大に經濟的となりたる事 ③杭打機、掘鑿機 土砂搬出機其他コンクリート施工設備等完備セリ ④昭和二年七月鐵抗打込に着手、目下竣工近し ⑤東京地下鐵道株式會社建設部技師長遠武勇熊、現場主任平田技師 ⑥大林組請負 ⑦三年末 ③省線御徒町驛下車又は萬世橋驛下車。

東京附近鐵道工事

- ①秋葉原貨物驛改良工事(東京市内上野神田間)
- ②二層式設計にして貨物の昇降は専ら「エレベーター」及「シュート」を使用し長尺もの及重量品の昇降には「テレファア」を使用す ③「スチームパイルドライバー」、「ロコモチープクレーン」電氣「コンクリートミキサー」、「コンクリートシュート」等を使用セリ ④全工事の過半部を竣功し昭和三年四月一日より使用を開始し殘部工事中 ⑤監督主任者(土木、建築)第一改良事務所設計掛(機械)工作局、現場監督主任伊本技師 ⑥(土木建築)錢高組、(シュート)東京石川島造船所(エレベーター)日本エレベーター製造會社 ⑦昭和五年度末 ③省線秋葉原驛下車
- ⑤東京市神田市場工事、地下鐵道工事、上野公園。
- ①下河原砂利採取場(中央線國分寺支線玉川附近)

著名工事 視察の手引

本欄は次の順序に配列記載します。

- ①工事ヶ所名稱 ②工事特長 ③工事設備
④工事現状 ⑤工事設計及主任 ⑥工事施工者
⑦竣工豫定 ⑧道順旅費 ⑨附近名勝地

②「ドラツグラインエキスカベーター」若しくは「スチームショベル」にて採掘したものを構内に運搬し第一節にて大玉石を抜き之を第二、第三の節を通すと同時に水洗をなし普通コンクリート砂利、鐵筋コンクリート砂利、の三種に區分する装置とし大玉石は碎機にて破碎したる後第二、第三節を通すものとす(設計能力一時間五立坪) ③設備東洋第一と稱せらる、尙ほ上記節分洗滌所の外五十馬力「モーター」により運轉する能力一時間約三立坪の採集船を有し尙「スチームショベル」、「ドラツグラインエキスカベーター」等を使用す ④以上諸機械を運轉する外に人力採掘を合せ年額四万立坪内外を採集す ⑤監督主任者 鐵道省第一改良事務所設計掛及工作局、採集現場監督、田尻技手 ⑥(節分所)錢高組、宮地榮治郎 高田商會、荒川製作所、採集船、明石組 ⑦中央線國分寺驛下車貨物列車便乗又は玉南鐵道中河原驛下車 ⑧向ヶ丘遊園地、分梅河原古戰場、百草園、大國魂神社。

①鶴見操車場新設工事 (品鶴間貨物線増設工事)

②従來東京附近に於ける貨物操車に對しては東北は田端東海道口は品川に於てせしも輸送量の増加に伴ひ漸次狹隘を感じ結局東北方面は大宮田端間に一日4,000輛操車場を造り田端と併用し、東海道方面に對しては本操車を宛て昭和15年度頃迄の増加に對抗し獨逸フレイリツヒ式カーレターダを設置し一日5,000輛を操車し得る様南北に3m20c東西約15c總面積25萬坪線路延長56m工事費1千萬圓の大規模操車場を設く ③全工區を一工區二工區に分ち土工工事に専ら機械力を利用すべく設備せり ④土木工事は竣工、桁架工事機關車庫設備工事竣工線路敷敷工事中なり ⑤鐵道省東京第二改良事務所

操車場一工區……………伊藤恣也技手
操車場二工區……………濱地辰助技手

⑥操車場二工區…鹿島精一…加藤澤吉、操車場一工區…大倉土木株式會社專務取締役横山信毅…藤澤昇 ⑦昭和四年六月 ⑧鶴見驛下車、土工線に沿ひ小倉及び鹿島田に出張所あり ⑨桃、梨の花 ⑩津田沼土取場 ⑪スチームショベルにて土砂掘鑿直に貨車積越中島線盛土用に使用 ⑫スチームシャベル三臺一日積込能力百七十立坪 ⑬目下運轉作業中、設計數量約十五萬立坪の内約十萬立坪採取 ⑭鐵道省第二改良事務所、矢澤技手 ⑮直營、本田技手 ⑯なし ⑰津田沼下車 ⑱伊藤飛行場。

鐵道トンネル著名工事

①丹那トンネル工事 (熱海建設事務所) ②延長

25,614呎、形狀、復線圓弧形高さ22呎6吋、幅25呎(勾配)兩抗門より四百四十分の一上りり配西抗門起點5,822呎より11,451呎間三分の一、(覆工)側壁は場所詰凝灰土、穹拱は混凝土塊積(一部分灰石を使用せし所あり)厚きは2呎1吋乃至4呎5吋半(掘鑿方式)主として塊太利式に依る(排水隧道)内法り高さ幅共に6呎排水能力一秒時間約150立方呎の排水専用隧道を主體隧道の左側に50呎以上を隔て全長に亘り築造す排水隧道の底面は主體隧道施工基面以下5呎2吋とす ③隧道掘鑿具の他工事用原動力とし總て電力を使用せり而して本隧道兩口諸設備は東口(熱海)主要遮降變壓機三臺、高壓空氣壓搾機三臺、回轉變流機二臺、電氣機關車五臺、「ターボ」送風機二臺、バッチャープラント一組。西口(大竹)大竹火力發電所一ヶ所、主要遮降變壓機三臺、高壓空氣壓搾機三臺、底壓空氣壓搾機四臺、廻轉變流機二臺、電氣機關車六臺、換氣機二臺、材料運搬用蒸氣鐵道延長約2哩、尙附帶設備として救護所を設置し醫員を專屬せしむ ④工事現状昭和三年十二月末日

底設導抗	東口	9,741呎	西口	項設	8,068呎
覆工	〃	9,094呎	〃		7,788呎
水拔抗	〃	9,313呎	〃		8,481呎

⑤鐵道省建設局、監督主任者、熱海線建設事務所長鐵道技師 池原英治、現場監督者(熱海)派出所主任鐵道技師 岡野精之助、詰所主任 技手 福島龍八(大竹)派出所主任 鐵道技師 橋本哲三郎、詰所主任 市川技手 發電所主任 鐵道技手 湊銀次郎 ⑥東口は鐵道工業株式會社主任田中仙太郎、西口は鹿島組主任 櫻井金作。

①清水トンネル工事 (上越南線及北線を連絡する清水峠の下を貫く東洋第一の長大隧道延長實に31,331.8呎) ②掘鑿方式は新塊國式及上部開鑿式、隧道形狀は乙型及乙型變型即乙型のスプリング以下側壁を直にしたもの ③材料運搬用鐵道設備(電車蒸氣著電車ガッリン車)變電所壓搾空氣設備、換氣機設備諸機械(鑿岩機其他)修繕工場設備、碎石、碎砂、木工場設備 ④南線土合口昭和四年一月末日導抗11,822呎、疊築6,230呎出來、北線土樽口昭和四年二月十日現在底設導抗14,030呎出來、疊築拱8,145呎出來 ⑤鐵道省建設局 監督主任技師 土合口は東京建設事務所佐藤周一郎、土樽口は長岡建設事務所善如寺秀太郎 ⑥鐵道省直轄 土合口東京建設事務所技手關野廣造、土樽口長岡建設事務所 技手沼崎寧 ⑦昭和五年三月 ⑧土合口は上越南線水上驛下車、土樽口は上越北線越後湯澤驛下車輕便にて土樽詰所に至る詰所より約一丁にして抗口 ⑨土合口に近く湯檢曾温泉、ループトンネル工事、土樽口に近くスキ

著名工事 視察の手引

一場(隧道附近一帶)湯澤温泉、ループトンネル工事。

①上越北線第二松川隧道工事 (位置上越南線澁川起點38m0c351 延長5,388呎) ②環狀形線路中設けられたる隧道 ③動力所、修繕工場、鑿燒工場、木工場、治療所、その他假車庫假官舎等約五十棟 ④掘鑿方法鑿岩機使用、岩質硬砂岩湧水少量にして掘鑿簡易なり、三年十月末日導坑4,880呎出來、壘築2,881呎出來 ⑤鐵道省長岡建設事務所直轄工事現場主任 馬場忍、同上 黒川正輔 ⑥昭和四年九月三十日 ⑦上越線越後湯澤驛に下車し工所用輕鐵に乗り鐵道省松川詰所に至りこれより徒歩 ⑧湯澤温泉、東電湯澤發電所。

①上越北線松川第一隧道工事 (上越南線澁川起點36m53c501 延長5,286.6呎) ②積雪を考慮し山腹に設けたるものなり ③松川第二隧道と同一なり ④掘鑿方法手掘、土質軟きため掘鑿に困難なり導坑進行三年十月末日2,722呎、捲上1,436呎出來 ⑤鐵道省長岡建設事務所直轄工事主任 技手馬場忍、同上 林野準之助 ⑥昭和四年九月 ⑦上越線越後湯澤驛に下車工所用輕鐵に依り鐵道省松川詰所に至りこれより徒歩 ⑧湯澤温泉、東電湯澤發電所。

①木次線下久野隧道工事 (米子建設事務所) ②延長1.5哩單線片勾配主として掘鑿は機械掘 ③空氣壓搾機其他諸設備は下久野側のみ之を設置す而して以上に要する動力及電燈用電力は水力電氣會社より購入す ④昭和二年十二月二十五日着手四年一月二十日現在底設道も坑進行601m 壘築拱70m ⑤鐵道省米子建設事務所 鐵道技師 南信一 ⑥鐵道省直轄現場施工主任者 鐵道技手 石田啓次郎 ⑦昭和六年三月 ⑧山陰本線穴道驛一私設鐵道大東驛(8m6大東下久野、乗合自働車約二里) ⑨穴道驛前面に穴道の湖水あり。

關西地方の鐵道著名工事

○阪和電鐵 (大阪市天王寺區上本町五ノ四)省線天王寺驛から東和歌山驛間38哩5分と濱寺支線1哩餘資本金2千萬圓、工事は二期十一工區に分ち目下進行中、大阪市内1哩7分の高架線、大和川鐵橋工事等の第一期線は四年四月完成豫定。第二期線の八工區雄の山トンネル延長5,680呎は三年六月貫通。紀の川鐵橋延長1,580呎は橋脚工事中で完成は四年八月頃。工事監督主任技師は同社土木部の箕浦戒二氏請負は鹿島組、原正組。

○參宮急行電氣鐵道 (大阪市天王寺區上本町大軌社内)大阪より宇治山田間83哩を二時間で連絡せんとする廣軌電氣鐵道の建設、工事費3千3百萬圓、昭和二年九月起工、四年秋には一部開通豫定。全線中の難工事と見らるゝ青山トンネルは昭和三年三月起工延長2哩10鎖兩勾配の單線型、掘鑿の諸機械設

本欄は次の順序に配り記載します。

- ①工事ヶ所名稱 ②工事特長 ③工事設備
- ④工事現狀 ⑤工事設計及主任 ⑥工事施工者
- ⑦竣工豫定 ⑧道順旅費 ⑨附近名勝地

備も完全して西口は三重縣名賀郡上津村、東口は一志郡倭村地内に在る、二ヶ年半で完成の豫定工事主任技師は西畑常氏請負は大林組である。

○名古屋貨物驛新設工事 (名古屋鐵道局改良課施工)名古屋驛附近の現在線路を高架線とする準備としての大工事、工事主任名古屋鐵道局改良課技師伊藤政恵、請負飛鳥組、昭和四年五月竣工豫定。

○大阪市内高架線工事 (鐵道省大阪改良事務所施工)大阪驛の前後約2哩間を高架線とする工事、大部分はコンクリートスラブ式、一部擁壁式、擁壁部分は三年五月、スラブ部分は昭和三年十二月。

○神戸市内高架線工事(工事書報三年十月號參照)

○大阪驛新築工事 (大阪鐵道局改良課施工)建物としては東京驛より小なるも高架線の下を全部使用して驛設備としては最新の設計になり多くの特長を有す、近く起工の豫定。

上水道著名工事

①荒玉水道町村組合 東京市接續の豊多摩郡北豊島郡に大給水工事をなす ②多摩川の伏流(河底)を水源とし集水暗渠より唧筒にて瀘過池に送り貯水池に入る、唧筒にて配水塔に汲上げ自然流下にて給水す(工事書報昭和2年12月號參照) ③堀鑿機コンクリート工事其他見るべきものあり ④配水鐵管送水鐵管野方配水塔築造工事、貯水池、接合井、瀘過池、集水埋渠三年竣工一部通水を始めたり ⑤故中島博士、技師長西大條覺 ⑥直營及び一部請負 ⑦一部本年給水、全竣工昭和6年度 ⑧池袋驛近くに事務所在り省線池袋驛下車。

①大阪市水道擴張工事 ②急速瀘過、鹽素殺菌法式施設 ③全工事中 ④大阪市役所水道部長島崎孝彦 ⑤直營及び請負 ⑥昭和三年度 ⑦中之島大阪市役所 ⑧市内に都市計畫及び港灣其他各種工事が在り。

關西、中國著名工事

①大阪市北區堂島川可動堰 ②テントターゲートにて自動的に河川を清流する我國最初の都市工事 ③シートパイル締切及び浚渫機等使用 ④南側開門と二徑間分竣工北側工事中 ⑤工學博士岡部三郎設計大阪市土木部河川課施工(工事書報昭和二年一月及び三月參照) ⑥キン及橋脚工事錢高組請負 ⑦昭和3年度 ⑧大阪驛より往復40分 ⑨大阪市役所、堂ビル中ノ島公園等。

①淀川新橋 (大阪市北區東野田町淀川筋) ②主徑間が三鉸拱式で路面からの高さ13米、延長108米、東側は築堤式の公園道路に接續する上鋼鉄桁13.8米を4徑間、西側も同様1徑間、有效幅員12間、橋長89.8米橋床鐵筋混凝土床版 ③基礎工事終る ④大阪市役所土木部工務課 ⑤昭和4年6月 ⑥大

著名工事 視察の手引

阪市電造幣局前下車 ⑥天満天神及び造幣局。

ニューマチツクケーソン工事

①鐵道省關西線揖斐川橋梁改築工事 ②昨年十月木曾川及揖斐川橋梁一線分竣功開通したるが、本年一月より揖斐川第二線に對するケーソンの Air on をなし、六月までにニューマチツクケーソン16ヶ、オープンケーソン1ヶ沈下の豫定 ③ケーソン用壓搾空氣設備、コンクリート施工設備（インランダー使用）假棧橋上可動機臺及びポンツーン上のデリック等、諸設備に相當の改良を施せり、深水部ケーソンに對しては全く進水式を用ひずスチールシートパイル締切法を採用す ④準備工事着手昭和三年十月 Air on 四年一月二十八日 ⑤設計、鐵道省工務局、施工、名古屋鐵道局改良課、工事掛主任、釘宮盤 ⑥名古屋鐵道局直營 ⑦昭和四年七月 ⑧名古屋驛から、關西線に乗換へ長島驛に下車、現場まで徒歩10分、名古屋から視察往復半日にて足り、旅費1圓以下 ⑨木曾、長良、揖斐三川の伊勢灣に朝する所附近水郷の興趣愛すべく、桑名、養老等亦遠からず伊勢神宮又は奈良への途中下車に適す。

海底隧道

①關門海底隧道調査 ②隧道豫定地の地質調査、三角測量並に大瀬戸海峡に於ける潮流調査、通過船舶數量調査、風速、風信、潮位觀測 ③地質調査に使用中の試錐機は「ガデリウス」會社製手送式「サリバン」會社製水壓式及「キーストン」會社製衝擊式にして海中試錐機臺として鐵製浮足場を使用す、三角測量は最も精確を要するものにして測角に獨逸製「カールンベルヒ」の「トランシット」及「レベル」基線測量に「インバースチールテープ」を用ひ、潮流調査に獨逸製「マックスマルクス」流速計和製「ブライス」型電音流速計を用ひ ④大瀬戸海峡の海中、陸上の試錐、三角測量の潮流測定、通過船舶調査中 ⑤鐵道省工務局關門派出所所長、技師 大井上前雄 設計者 技師 鴨下武、監督技師 佐伯謙吉 ⑥鐵道省直營 現場施工主任 技師 光成毅平 ⑦昭和四年四月 ⑧下關驛下車、關門派出所に案内を乞ふ事 ⑨安徳天皇の御陵（赤間宮）、壇ノ浦古戰場、春旅樓。

河川著名工事（新潟地方）

①信濃川補修工事（新潟縣三島郡大河津村附近） ②東洋第一を誇りたる大河津分水自在堰が昭和二年六月陥没せる爲め之が復舊を目的とし同時に下流寺泊に至る分水路の補修工事をなすもの工費446萬圓 ③締切工事にシートパイルを極度に利用し、サクシヨンドレツヂャー、索道、スチームシヨベル、採石設備其他土工用の大機械類を使用せり ④昭和二年十二月起工、目下は可動堰基礎工事、固定堰、床固床留、附帯低水工事等盛に進行中 ⑤内務省新潟土

本欄は次の順序に配列記載します

- ①工事ヶ所名稱 ②工事特長 ③工事設備
- ④工事現状 ⑤工事設計及主任 ⑥工事施工者
- ⑦竣工豫定 ⑧道順旅費 ⑨附近名勝地

木出張所長青山士、信濃川補修事務所（大河津所在）主任工學博士宮本武之輔 ⑥直營工事 ⑦昭和五年度 ⑧舊越後鐵道線大河津驛下車 ⑨彌彦神社。

①萬代橋改築工事新潟市信濃川口 ②延長160間の間にメーンアーチ6徑間コンクリートアーチ橋基礎工事にはニューマチツクケーソンを使用 ③工事用機械設備相當に在り ④潜函工事完了、上部工事中 ⑤設計、田中豊 工事主任技師、正子重三 ⑥新潟縣土木課直營 ⑦昭和3年度 ⑧新潟市 ⑨附近に信濃川の改修工事あり。

北海道鐵道工事

①室蘭石炭積込設備改良工事（札幌鐵道局工務課） ②埋立及び岸壁工事、岸壁はシートパイル及び高35尺、長46尺、幅26尺のコンクリートケーソン26個を沈下して2,100尺の大埠頭を建設する尙ほ現在高架棧橋の東側にも2千坪の埋立をなし1千尺の岸壁を築造す ③インランダー、サクシヨンドレツヂャー（カッター付）其他工事設備をなす管 ④昭和三年秋着手目下は現棧橋西側のシートパイル打込中 ⑤設計は鐵道局技師、長田誠三郎 ⑥目下は直營工事 ⑦昭和六年度 ⑧室蘭驛下車視察し得 ⑨苫小牧王子製紙工場、支笏湖、登別温泉、輪西製鐵所、洞爺湖。 ①小樽石炭積込設備改良工事（札幌鐵道局工務課） ②從來の設備は保修費丈けに年々10萬圓位を要するので今回新設工事着手、埋立は山土を切取り運搬し護岸にはケーソンを使用す ③コンクリートケーソン製作設備あり ④土工工事及びケーソン製作準備工事中 ⑤設計者鐵道局技師板橋三郎 ⑥昭和六年度。

港灣著名工事

①東京市隅田川口改良工事 ②埋立及び浚渫工事埋立面積106萬坪、防波堤1,440間、繫船岸壁500間の築造工事、繫船壁の工事特長は高さ31呎幅26呎長60呎の鐵筋混凝土造の潜函を使用（三年六月號等参照）防波堤は輕易なる假防波堤の構造で幅甚だ大にして20間なる事等 ③鋤鏈式の浚渫船一日の能力700立坪一隻、250立坪一隻、200立坪一隻、掘揚式300立坪一隻、掘揚式50立坪3隻、ポンプ式浚渫船一日能力500立坪一隻、350立坪一隻、300立坪一隻、④浚渫埋立、防波堤、岸壁等工事中 ⑤東京市役所河港課長技師永井松次郎、掛長技師田村與吉、河港課芝浦出張所長技師武藤倍雄、同所技師上野長三郎 ⑥全部直營 ⑦昭和6年 ⑧省線田町又は市電本芝一丁目下車海岸の方へ出る ⑨泉岳寺、芝浦海岸一帶等。

①東京灣埋立會社の鶴見埋立工事 ②埋立面積150

著名工事 視察の手引

萬坪、防波堤、繫船岸壁、運河工事等 ③1千馬力のポンプ式浚渫船を初め大小數種使用、コンクリート函用製造用ドック、コンクリート矢板等使用 ⑦埋立完了、浚渫及び横濱寄防波堤工事中 ⑧東京灣埋立會社取締役工學士關毅 ⑨直營工事 ⑩省線鶴見驛下車、海岸電車及び自働車あり ⑪淺野造船所ヒュームコンクリート管會社等あり。

①横濱港改修工事、岸壁工事、埋立工事、浚渫工事 ②護岸のアーチ型扶壁體と岸壁に使用のケーソンは岡部博士の耐震設計 ③ケーソン製造用の經濟ドック在り、アーチ型特種コンクリート擁壁製作諸設備土丹盤浚渫にデックボードレッチャー使用 ④第三期埋立完成、外國貿易岸壁及び護岸に特種ケーソン使用中、浚渫工事中 ⑤横濱出張所長工學博士安藝杏一、浚渫埋立工事主任樺木技師、岸壁ケーソン工事主任鮫島技師、機械主任宮武技師 ⑥内務省横濱土木出張所直營 ⑦昭和5年 ⑧横濱驛下車、内務省土木出張所迄徒歩5分 ⑨横濱市内に復興工事として視るべき道路、橋梁、河川、區劃整理、建築多數あり。

①清水港修築工事(静岡縣所在) ②工費665萬9千餘圓にして大正十年より起工、浚渫埋立岸壁等の諸工事及び鐵道省引込線の委託工事中在り ③鐵筋澆土ケーソン工事設備に特種のデック、クレン使用其他浚渫埋立工事に諸機械設備あり ④盛んに工事中(工事畫報昭和2年11月號參照) ⑤内務省横濱土木出張所、清水港修築工事々務所長須山英次郎 ⑥直營工事 ⑦昭和3年度 ⑧東海道江尻驛下車 ⑨駿河灣に臨む三保の松原一帶。

①神戸港改修工事、岸壁工事、埋立工事、浚渫工事 ②高西博士の特種ケーソンの岸壁に使用す、防波堤は基礎を深へて捨石するの特種工法 ③コンクリートケーソンの進水に浮ドックを使用せり ④國內貿易設備工事、外國貿易設備工事、防波堤等工事中 ⑤内務省神戸土木出張所長 高西 敬義、ケーソン岸壁、埋立、浚渫、防波堤工事主任は荒木博士 ⑥内務省神戸土木出張所直營、割石も直營採收 ⑦昭和8年 ⑧三宮驛下車内務省土木出張所迄徒歩10分 ⑨三菱及び川崎造船所、六甲山阪神國道、布引等、高架線鐵道改良工事。

①門司港修築工事(岸壁、防波堤、浚渫埋立工事) ②特種ケーソン及びL形ブロック使用 ③ケーソン及びL形ブロック製作設備、進水臺、浚渫船等 ④約七割竣功 ⑤内務省下關土木出張所所長、片山貞松、工事主任木津正治氏、機械主任小松郁次郎 ⑥内務省下關土木出張所直營 ⑦昭和4年度(起工大正8年) ⑧下關驛下車内務省土木出張所へ約半里同所にて案内を乞はれ度し ⑨附近に下關港修築工事中在り。

目下工事中の著名なるものを視察せんとする人の手引として本欄を設く、旅行の序に視るも良し、わざわざ視察に行く讀者には工事畫報社から御便宜を得らるゝ様に工事主任者へ御紹介を致しますから申込み下さい。

水力電氣著名工事

①朝鮮咸鏡南道赴戦江朝鮮水電會社 赴戦江水力發電工事 ②鴨綠江の支流を堰留め日本海に逆流して3,000尺以上の落差を利用するもの(工事畫報二年六月號參照) ③工事専用鐵道、索道、インクライン、機械修繕工場等の大設備を見るべし ④堰堤工事隧道等進行しつつあり ⑤工務部長久保田豊、工事主任松村種雪 ⑥コンクリート工事を直轄とする外は全部請負にて第一區松本組第二區長門組第三區と大堰堤は間組、鐵道工事は鹿島組及び西松組其他 ⑦昭和6年 ⑧京城より咸鏡南部線咸鏡驛に下車し、私設朝鮮鐵道咸鏡線に連絡乗車し、西新興驛に下車、同所より以北は水電會社専用線に乘車の事務所は松興里に在り旅館三島屋の宿泊料一泊一等金3圓50錢、京城から西新興驛迄、二等往復汽車賃23圓、京城から工事ヶ所最北の堰堤迄往復日數7日間を要す。 ⑨千佛山の奇山峻峰在り、咸興は李朝發祥の地で本宮歸州鎭、定陵、和陵等がある。

①庄川水系小牧發電所 ②ダム式發電所にして高さ260呎長さ1,000呎貯水量17億立方尺、落差240呎にて出力72,000キロを有する東洋第一のコンクリートの大堰堤(總坪數48,000立坪)工事 ③一日250立坪のコンクリート、ミキシングの大設備及び工事用電車(25噸4輛)蒸汽機關車5輛、9哩の専用軌道を有す工事畫報三年七、八月號參照 ④堰堤は竣工發電所内部工事中 ⑤日本電力株式會社技師石井類一郎(堰堤)、早瀬眞平(發電所) ⑥直營工事及加藤組佐藤組 ⑦昭和四年内 ⑧富山縣東礪波郡青島村小牧(北陸線高岡驛より又は石動驛より加越線青島驛下車、大阪及東京より汽車賃約10圓)

①高岡發電所(宮崎縣東諸縣郡高岡町) ②大澗川の水力を利用す、水量最大2,530個平均2,000個、有効落差97尺乃至179尺、出力30,000 K.W. ③貯水池堰堤長400尺、高110尺、テインターゲート(36尺×17尺)8門、調整池堰堤長430尺、高70尺、隧道4ヶ所(内徑18尺餘)延長計11,126尺83(延長2千尺乃至7,945尺) サージタンク内徑54尺高80尺水壓鐵管三條内徑10呎4吋延長477尺餘、水車堅型單放水式フランシスタービン14,500馬力3臺 ④昭和三年六月起工 ⑤大澗川水力電氣株式會社建設事務所長(取締役)濱田東稻 電氣部長内田秀四郎、土木部長山口圭助 ⑥請負 飛鳥組、鹿島組 ⑦昭和五年十月竣工豫定 ⑧道順 宮崎驛下車約六里(乘合自働車あり)面早流に下車 ⑨名勝 薩摩藩舊關所址

水とセメントの觸接

ミキサーに水を先づ入れ次にセメント、砂砂利と云ふ順序に入れる丈事で混凝土の強度が何程増すか、之は九大の吉田博士の實驗で明な斷案が下された、(本號の「事基本知識欄參照)之は目醒めたる現場員に對し先輩諸氏から實行を強いなければならん現實の問題である。